

東日本大震災によるライフライン被害データベース検討委員会
第5回委員会

議事録

出席者： 鎌田， 庄司， 鈴木， 永田， 宮島， 若松， 丸山（記録）， いわき市水道局（紺野， 金成， 則政， 吉田， 熊谷） （敬称略）

1. 日時： 2012年12月26日（水） 13:30～16:00

2. 場所： いわき市水道局

3. 議事次第

1) 委員長挨拶

- ・ 鎌田委員長から挨拶があった。

2) ライフライン DB 検討委員会の委員よりいわき市の水道管被害分析の報告

若松委員： いわき市の水道被害と旧地形の関係

- ・ 地形境界で発生した被害について議論があった。
- ・ ボーリングデータの提供について依頼した（とくに平地区）。
- ・ 当座の目標として，地震による被害が発生する危険性が高い地域を抽出することを目指す。

鎌田委員長： GIS データベース構築と微地形による被害分析

- ・ 本震の際の復旧作業は，原子力発電所の影響もあって着手が遅れた。
- ・ 管種，管径，地形の補正係数の設定方法について議論があった。

永田委員： 水道の復旧期間の分析について

- ・ 復旧時の人員配置に関する資料の提供を申し出た。どこにどのくらい的人员が入っていたかが分かる
と今後の人員配置計画について詳細な検討が可能。
- ・ 地震後の復旧に関する情報は1週間程度で見込みを示したい。大字単位で示す。
- ・ 復旧作業の優先順位（病院等の重要施設）に関して，内容の確認を依頼した。

3) データベース協議会について

- ・ バーチャルな組織として設置し，学会 HP を利用してデータ公開を図る。
- ・ 利用者の制限をかける（非営利目的のみ）。
- ・ 2013年5月末までに対応を進めた方がよい（理事会は3/29）。協議会の趣旨，学会サーバーで必要とする容量など。

4) 今後の共同研究に関する予定

- ・ GIS データはシェイプファイルとしていわき市へ提供する。

- ・まとまったものがあればレポートを提出する。委員会終了時には学会およびいわき市へ報告書を提出する。
- ・対外発表時には事前に内容を確認してもらう。
- ・次回は、3月13日～19日の期間でいわき市にて開催する（日程調整）。